

結果の概要

1 労使関係についての認識

使用者側との労使関係の維持についての認識をみると、「安定的に維持されている」50.3%（平成27年調査49.7%）、「おおむね安定的に維持されている」39.2%（同38.1%）、「どちらともいえない」5.8%（同8.1%）、「やや不安定である」2.6%（同3.2%）、「不安定である」1.7%（同0.9%）となっている（第1表）。

第1表 使用者側との労使関係の維持についての認識別割合

（単位：％）平成28年

区 分	計	労使関係の維持についての認識								
		安定的	安定的に維持されている	おおむね安定的に維持されている	どちらともいえない	不安定	やや不安定である	不安定である	不明	
計	[100.0]	100.0	89.5	50.3	39.2	5.8	4.3	2.6	1.7	0.4
< 企業規模 >										
5,000人以上	[22.5]	100.0	90.8	61.6	29.2	4.2	4.2	1.5	2.7	0.8
1,000～4,999人	[20.3]	100.0	95.3	64.0	31.4	3.0	1.2	0.8	0.5	0.4
500～999人	[13.5]	100.0	91.0	51.8	39.2	6.6	2.3	1.5	0.8	0.1
300～499人	[10.6]	100.0	93.0	37.1	55.9	3.9	2.6	2.0	0.6	0.5
100～299人	[21.8]	100.0	83.2	37.8	45.4	8.9	7.9	5.6	2.2	0.1
30～99人	[11.2]	100.0	83.7	37.9	45.8	8.8	7.5	4.1	3.4	-
< 労働組合の種類 >										
本部組合	[6.1]	100.0	94.1	58.1	36.0	1.8	3.3	2.6	0.7	0.8
単位労働組合	[93.9]	100.0	89.2	49.8	39.4	6.0	4.4	2.6	1.8	0.3
支部等の単位抜組合	[51.3]	100.0	91.6	56.6	35.0	4.7	3.3	1.6	1.7	0.5
単位組織組合	[42.7]	100.0	86.5	41.7	44.8	7.6	5.8	3.8	2.0	0.2
平成27年調査計		100.0	87.8	49.7	38.1	8.1	4.1	3.2	0.9	0.0

注：[]内は、計を100とした「企業規模」「労働組合の種類」別の構成割合である。